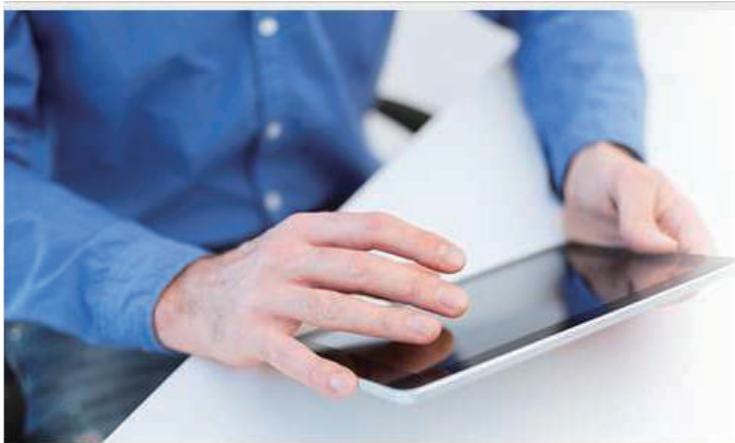


# SSKA 頸 損

KEISON No.125

## 目 次

全国新会長挨拶	1
<b>総会特集</b>	
「人生は続く」「2018年度役員一覧」	2
「全国総会大阪大会を終えて」「九州大会告知」	4
2018年度活動方針提起	6
収支報告・予算案	9
茶話会(女子会)報告	10
「学生ボランティアとして参加して」「大阪大会に参加して」	11
初心忘れるべからず	13
上を向いて泳ごう	15
オプション企画・難波コース	18
<b>一般記事</b>	
「バリアフリー法改正」と残る課題	19
新聞／報道ピックアップ	20
「“流しの”UD タクシー(JPN タクシー)初乗車体験記」	22
AIスピーカー利用報告	
・「Clova・WAVE」	23
・「Google・Home」	25
お役立ち	27
東北復興支援記 in 福島県	28
年間予定	30
本部・支部連絡先一覧	31
編集部のページ	32



# Rickey

## タブレット／スマホで パソコンをらくらく操作！

GooglePlayで販売中！

Rickey（リッキー）は、Androidタブレット/スマートフォンからパソコンを操作する、新しいタイプの支援ソフトです。

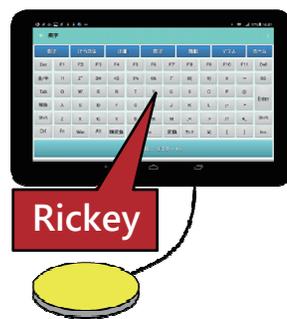
Rickeyを使えば、手もとのタブレットやスマホの画面タッチでパソコンへの入力や各種操作ができます。画面タッチの他、マウスやトラックボール、オートスキャンでも利用でき、通常のキーボード操作が難しい方でも、腕や指の動きに合わせた方法で、パソコンの入力や操作が可能になります。

### 利用イメージ



操作  
文字  
入力  
入力  
Bluetooth  
接続

Androidタブレット



Rickey

あなたに合った操作方法を選べます

画面タッチ操作

マウス／トラックボール

オートスキャン操作

手に力が入らない、腕が動きにくい人でも利用できます。

### 画面イメージ



ひらがなキーボード

英字キーボード



マウスパッド画面

### Rickeyの入手方法

詳しくは……

Rickeyは、GooglePlayで400円(込)で販売しています。

イデア・フロント株式会社 at\_dp@ideafont.jp

Rickeyウェブサイト：<http://www.ideafont.jp/Rickey/>

## 全国頸髄損傷者連絡会新会長の挨拶

全国頸髄損傷者連絡会 会長 鴨治 慎吾

今年度(2018年)の全国頸髄損傷者連絡会総会から、会長を務めさせて頂くこととなりました、鴨治慎吾(東京頸損)です。

宮野秀樹(兵庫頸損)事務局長とともに、先達に習って、今まで築き上げてきた頸損連絡会をさらに作り上げていきながら、これからの新しい頸損連絡会を目指したいと思います。

当会は、情報提供、親睦交流、行政交渉などを行い、頸損者の抱える問題を解決し、障害の有無に関わらず、平等に自立できる社会にしていく事です。私の思う自立とは、自己実現力です。自分でやりたい事、出来る事を自分で探し、自分で決めて、主体性を持ち、自己実現に向けて、んでいけるように協力する為の活動をしていきたいと思っています。

まだまだ頸損連絡会は、やるべきことがあります。「Take Action(行動を起こす)」を胸に活動していき、我々頸損者が社会の一員として普通に生きていく事が出来る社会にしていくために、尽力していきます。皆様、ご指導ご協力の程、宜しくお願い致します。

まずは「新規会員の獲得」「会員数の増員」を目指す考えです。そのためにも、行政交渉や会員をはじめとする頸髄損傷者の生活が改善できるような申し入れを関係機関に対して積極的に行います。そして、他団体との交流・情報交換を積極的に行い、共通する課題や問題には協働していきます。各支部が活性化するように務めます。

会員の高齢化、会の活動の協力者・後継者不足はどの支部でも共通する課題です。ともに考え、我々がなすべきことを見極めて、課題クリアに取り組めます。

これから頸髄損傷者連絡会を知る人たちには、「この会は自分がうまく生きていくために必要」と希望を持ってもらえるように活動し、全国を奔走しようと思います。仲間が集まり、新しい支部ができ、活動できるよう努めます。

まだまだ、課題はたくさんあると思います。また、新たな課題も出てくると思われま

す。現時点では多くのことを望んでも即実行とはいきませんので、一つ一つ着実に解決できるよう、取り組んでいく所存であります。皆様には、温かく見守ってもらうとともに、率直なご指導・ご意見の程、どうぞ宜しくお願い致します。

三戸呂前会長と菊地前事務局長に「お疲れ様でした」と一言お礼を申し上げます。といっても、お二人にはまだまだ役員としてご指導いただかなければなりません。私達にはまだそのような力量はありません。

皆様のご協力なしに本部の屋台骨を支えることはできないことを、お含みおきください。前執行部が安定的に行ってこられた組織運営を、後戻りすることなく発展させることが新体制の使命だと考えておりますので、その中心となるべく精進したいと考えております。

私は、20歳の時に交通事故で頸髄損傷となり、一生寝たきりだと言われました。当時は何もわからず、この先どうして良いか分からなかった時期があります。そうした時に頸損連絡会の諸先輩方と出会い、頸損の実情を知り、色々な活動、情報を教えて頂きました。そのおかげで、今では親元を離れ自立生活が出来るとなりました。まだまだやりたい事もたくさんあります。

皆様へ。

我々、全国頸髄損傷者連絡会を上手く活用してください。「あれをしてほしい」「これをしてほしい」「あれはなに?」「これはどういう事?」等、どんどん御問い合わせ、御申しつけください。そして、ご協力下さいますようお願い致します。これからも、皆様と活動をしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 「人生は続く」

大阪頸髄損傷者連絡会 赤尾 広明

### ●テーマに込めた想い

2018年5月5日～6日の2日間にわたって開催した全国頸髄損傷者連絡会総会大阪大会（以下：全国大会）はおかげさまで無事に終了することができました。約1年がかりで実行委員会議を積み重ね、意見を出し合いながら、全力でおもてなしすることを心がけ、大阪らしい全国大会として盛り上げようという意気込みで準備してきた甲斐があって、多くの参加者に楽しんでいただくことができましたように思います。いや、この原稿を書いている今はまだ全国大会から1ヶ月も経っていないので、せめて余韻が冷めやらぬうちはそう思わせてください（笑）

さて、内容としましては大会初日のシンポジウムにはとくに力を入れました。2014年の兵庫大会で「頸損になってからの人生のロードマップ作り」という構想が生まれ、受傷後の過程で多くの人が直面するであろう課題や難題の解決に導いていけるようなネットワーク（当事者を支援する当事者、医療従事者やコメディカル、福祉機器の開発エンジニアやアドバイザー、専門家 etc.）があれば役立つだろうと話し合っていたのですが、今回のシンポジウムのテーマとして「人生のリカバリー」を掲げたのはそんな構想が発端にあったのですよね。

開会の挨拶でもお話させていただきましたが、全国大会を大阪で開催するのは10年ぶりのこと。当時ゲストとしてお招きしたカナダ人のダン・ルブランさん（人工呼吸器使用者）が急性期の頃に励まされたという車椅子で地球一周（約4万キロ）の距離を走破したリック・ハンセンさん（脊髄損傷者）の言葉「人生は脊髄損傷を負った後も続く」が僕にとっては印象的だったのですが、続くからこそ前向きに自分の人生をリカバリーしたいし、障害があっても楽しく生きたい。今、生き生きと明るく過ごしている頸損者だって障害を宣告された瞬間はきっとアイデンティティを揺さぶられるほど激しく落ち込み、劇的な変化をすぐには受け入れられなかったと思います。でも、人それぞれに心境が大きく変容するきっかけがあって、

自分自身と向き合い、目の前の壁を乗り越えてきて“現在“があると思うのです。その過程に何があったのか。どんなサポートがあったのか。障害を負った瞬間から人生を再構築するまでの過程を知ることで頸損連のセルフヘルプ活動にも役立つだろうし、急性期の頸損者をエンパワメントすることもできると考えました。

### ●十人十色きっかけはさまざま

2部構成の第1部では高校復学から大学進学、そして卒業、社会人という道りを歩んでこられた柏岡さん（人工呼吸器使用者）にスポットを当て、本人だけではなく高校在学中からサポートしてきた当事者にも登壇してもらい、当時の心境を振り返りながら、行政書士を目指すという今後の大目標まで語っていただきました。高校時代の恩師や近所のおばちゃんの何気ない言葉が心を動かし、復学することを決意させ、支援者の存在が力強い後ろ盾となり、その都度自分で掲げてきた目標を確実にクリアしてきた彼の道りは頸損連が果たすべき社会的役割も示唆していました。まさに「終わり」ではなく「続く」ことを大前提として、その人に寄り添うような形で元気づける、楽しく生きられるように勇気づけることが重要だと再認識しました。

第2部ではさまざまな境遇にある頸損者に登壇していただいて、いわゆる「障害受容」についてお話していただきました。障害受容は人それぞれ言葉の捉え方やプロセスにも違いがあるので、他人と比較してどうこうではないし、そもそも「何を以って障害受容なのか？」という明確な物差しもありません。どこかのタイミングで何かしらのきっかけがあって受容できた人や気がつけばいつの間にか受容できていた人、あるいは受容できているかどうか分からないという人もいて当たり前です。ただ、個人的に思うのは100%の受容なんてありえないということ。「人生のリカバリー」と「障害の受容」は似ているようで少し意味合いが違いますが、リカバリーは人とのつながりが大きく、障害受容は自分自身の内面との闘いで

はないでしょうか。いずれもターニングポイントになるという意味では同じかもしれませんが、「障害受容」という言葉の功罪についても考えさせられました。障害受容できていれば前向きで、できなければネガティブでダメという否定的なイメージを持ってしまいがちですが、そんな単純なものではないということはすでに私たちは経験済みです。その人なりの人生がありますので、決して無理強いするものではなく、気がつけば…って感じがちょうどいいかもしれませんね。

今回はロードマップ的にはかなり初期段階の過程になるかと思いますが、頸損当事者が、頸損連が寄り添うように深く関わることが求められる重要な段階だと思います。私たちが今できることは何か？今すべきことは何か？この機会に改めて見つめ直したいところ。これからセルフヘルプ活動をしていくうえでは私たち頸損連から何かしらのきっかけを提供できればいいし、支援のあり方は中長期的なスパンで考える必要もあるでしょうね。そのための情報を発信/共有できるネットワークの構築も不可欠。頸損連だけではな

く、地域社会でお互いに支え合うことが今後ますます重要になってくるので、大阪頸損連の活動としても少しずつでも実践していきたいです。



レセプションの1コマ

全国大会に参加して下さった皆様、  
ありがとうございました。

2018年度 本部役員・事務局体制			
会 長	鴨治 慎吾	(東京)	新
副 会 長	八幡 孝雄	(東京)	
	村田 恵子	(京都)	
	神田 憲治	(九州)	新
事務局長	宮野 秀樹	(東京)	新
編 集 長	菊地 敏明	(東京)	
会 計	山本 格生	(岐阜)	新
会計監査	三好 宏和	(愛知)	
-----			
相 談 役	今西 正義	(東京)	
	三戸 呂克美	(兵庫)	
	坂上 正司	(兵庫)	
事務局長補佐	鈴木 太	(愛媛)	
事務局員	木戸 功	(兵庫)	
	篠田 義人	(岐阜)	
	宮原 映夫	(東京)	
	島本 義信	(大阪)	
	井谷 重人	(愛媛)	
	毛利 公一	(香川)	



## 全国総会大阪大会を終えて

大阪頸髄損傷者連絡会 島本 義信

### ○大会準備

2017 年 3 月の代表者会議で手を挙げて 6 月にキックオフ会を開き大会に向けて準備をスタートしました。個人的には 10 年前の大阪大会の準備中に頸損連に入会し、よくわからないまま実行委員スタッフに引きずり込まれ (!?笑) シンポジウム会場のレイアウトや受付など、できることを手伝っていた記憶があります。

今大会では兵庫頸損のメンバーの協力を得て、キックオフ会の翌月から実行委員会を月に 1 度のペースでスタートしましたが、大会直前の 3・4 月には毎週集まるハードなスケジュールになってしまいました。準備でやるべきことについては 10 年前の資料があり参考にすることができたのでとても助かりました。ここ数年の全国大会では、1 日目がシンポジウム、総会、レセプションで、2 日目はゆっくり観光などを楽しむ企画となっていました。今回は初日にシンポジウムとレセプションでたっぷり楽しんでいただき、翌日に総会と観光を企画しハードですが楽しい時間を過ごしてほしいとの思いを込めて準備をしました。



キックオフ会

大会の参加者をどのようにお迎えするかを検討すると同時に、参加費の検討も重要で多くの方の協力を得てリーズナブルな会場や宿泊先に決めることができました。シンポジウムの会場費用を確保するために、助成申請を 3 件し決定が出るまではドキドキもので結果は 2 勝 1 敗の成績でし

た。複数の助成が不可だったので 2 勝のうち 1 件は泣く泣く辞退することになりましたが、それでも会場費を賄うことができとても助かりました。助成に関しては大阪市社協の助成金情報から、ひとつずつどんな目的や地域が助成の対象になっているのか、過去の事例などを参考に応募先をさがしました。

ボランティアの募集は医療系・福祉系の大学や専門学校に 2 月から声掛けを始め、実際に学校へ足を運び学生たちに直接募集しに行く中で出会えた学生の参加者が多く、行動して知ってもらうことの大切さをあらためて再確認しました。この繋がりをこれからも続けて、頸損者のことを少しでも学生たちに知ってもらい社会に仕事にいかせてもらえるような関係を保とう考えています。

### ○大会当日

全国大会のテーマは「人生を回復するための頸損連の役割」とし、大会初日のシンポジウムには予想を上回る 167 名の参加がありました。シンポジウムのテーマへの思い入れについては赤尾会長からの報告におまかせするとして、交流会レセプションにも 120 名の参加がありました。



シンポジウム

レセプションと言えばコスプレ、コスプレと言えば大阪大会との期待を裏切らないいでたちの実行委員が、歌やダンスでおもてなしの気持ちをあらわし良いひと時を過ごしていただけたのではと感じています。



レセプション



全国総会

翌日の総会では各支部からの活動報告や予算について承認され、同時に全国頸髄損傷者連絡会の会長、事務局長が世代交代し新会長には東京の鴨治さん、新事務局長には兵庫の宮野さんの就任も承認されました。午後のオプション企画にも37名の参加者があり、17時にみなさん帰路につかれましたとの報告をもらい、2018年度の全国大会が終了しました。

後日談ですが女性の集いも13名の当事者が集り普段話せないことが話せてすごく良かった、今回参加したかったができなかった、との声が多くよせられたことから、これから大阪頸損連の中でも女性障害者に関する課題整理や声を出せる場の設定など、ゆっくりと目標を持って進めていきたい。との報告もありました。

#### ○終わりに

参加者への事前のレスポンスの悪さなど、至らない所は多々あったかと思いますが、大きなトラブルやアクシデントがなかったのは何よりで、実行委員スタッフ一同、安堵感と同時に感謝の気持ちでいっぱいです。大会にかかわってくださった皆様には、この場を借りて心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

次回は九州でお会いしましょう！

## 2019年度全国総会は大分県別府市にて開催予定

**2019年度全国総会初の九州開催！！**  
**総会日程、プログラム、会場等の詳細は**  
**決定次第、機関誌「頸損」誌上にてお知らせ致します**  
**皆さんとの再会、新たな出会いを楽しみにしています**  
**是非、沢山の皆さんの参加をお待ちしております**  
**今から旅行計画を建ててみてはどうでしょうか？**



## 2018年度 活動方針提起

### ■活動の基本的な考え方

#### 「Take Action(行動を起こす)」を胸に！～セルフヘルプを連鎖させる～

1973年(昭和48年)に東京都身体障害福祉センター・会議室に有志7名が集まり、「頸損を考える会」の設立が話し合われた。この“Take Action”こそが頸髓損傷者連絡会の始まりである。我々は、頸髓損傷者(以下、頸損者)を始めとする重い障害を持つ人が、どんな状況下にあっても自律して生きることができる社会を望んでいる。そして、それは黙っていて誰かが作ってくれるというものではなく、我々自身の声を大きく強くすることでしか、我々の望むものは生まれてこないことも知っている。

“Take Action”を通じて、社会の一員として普通に、あたりまえに生きていくこと。我々が独立した社会人として生きることができる社会にしていくことが我々の目指すものである。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(通称：障害者差別解消法 2016年4月施行)が施行されて早2年、～他の者との平等～を法律としては施行されたが実際我々の生活において何が変わったのだろうか。「他の者との平等」といっているが、まだまだ、完全平等といえない。

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(通称：新バリアフリー法)では、新規の施設において基本的にバリアフリー化を義務付けているが、小中規模店舗等には努力義務となっている。既存の施設も同じく努力義務のままである。すなわち、現状では我々が利用したくても利用できないということが多数起っている。

医療でも自治体によって差は大きい。頸損者の多くが利用している訪問看護は、自治体の努力により助成や無償化が増えてきているが、一部の地域では自己負担を強いられている。

国は、「障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的とする。」と記している。まだ残る格差・不平等をなくし、我々頸損者も「他の者との平等」(平等である権利)が得られるよう引き続き啓発活動を行っていかなければならない。

昨今、医療技術が進み、大怪我しても回復できる時代となったことにより、新たな頸髓損傷者が確実に増加している。それは情報が得られず、誰からの手もさしのべられず、孤独・孤立する頸損者が増えている恐れも併せ持っている。孤立している者にセルフヘルプを積極的・継続的に行っていき、その者がさらなる頸損者にセルフヘルプが行える環境作りに尽力し、今を生きる我々がセルフヘルプの連鎖のため協働していかなければならない。

## ■基本活動

### 「One Action(ひとり一人の行動)」から！

頸損者が尊厳を奪われることなく、真にひとりの人間として心豊かに生きるためには、自己信頼の回復が必要になる。それは困難を乗り越え、多くの成功・感動を体験することで取り戻すことができる。当会には逆境をはねのけ、人生を取り戻した経験者や、幾多の失敗を糧に、次こそは上手くやると困難に挑む挑戦者が数多くいる。必要とする情報を提供して人生を取り戻す一助となるのが当会の最大の目標であり、孤独になりがちな頸損者のためにひとり一人が行動するセルフヘルプ活動を行っている。頸髓損傷者連絡会(以下、頸損連絡会)は当事者団体ではあるが、情報の提供は会員、非会員を問わず提供することを会活動のひとつとしている。今年度も以下の項目を活動の柱として運動を続ける。

- 頸損者へのセルフヘルプ、ピアサポートを積極的に実践
  - ・各支部間の交流、支部のない地域での出張活動・招待活動等
- 頸損者の抱える問題を共有化し、問題解決の道を具体的に探す
  - ・代表者会議、支部間交流、頸損同士の交流によって問題の共有化を図る
- 情報を収集し、頸損者及び関係機関等への情報提供をより充実させる
  - ・機関誌・HPの内容充実
- 障害の枠を超えた各分野との交流・活動
  - ・日本リハ工学協会、大学・専門学校・高校など、分野別メーカーとの交流
- 他団体との統一行動
  - ・介助、交通・まちづくり、制度改革などの課題を協力して行政への要請行動等

## ■活動重点目標

- ☆生活を向上させるための法律・制度・サービス改善交渉を行う
- ☆当事者の視点による意見を的確に伝えられる人材の育成を目指す
- ☆障害者支援を目的とする機関とのネットワークを拡げる

## ■分野別活動方針

### ●障害者の権利保障

- ◎移動権が保障されていない中で進められる方策に対し、「障害者差別解消法」に則した改善を求める。
- ◎各自治体における「障害者差別禁止条例」制定に向け積極的に関与し、差別事例の収集等に協力する。
- ◎女性障害者独特の差別について、相談しやすい体制を作り、事例を集めて課題を検証し、必要な対策を提案して課題解決を求める。

### ●介助制度

- ◎2018年度実施の改正総合支援法の各施策に関し、頸髓損傷者の地域での自立生活が確立できる介助制度の拡充を今後も継続的に求める。
- ◎65歳到達時の介護保険移行によるサービス低下を防ぐため、介護保険について基礎的な知識を獲得し、本会で2016年に実施した「頸髓損傷者の介護保険利用状況実態調査」の結果をもとに、障害者施策に対する積極的な意見発信を行う。

**●交通・まちづくり**

- ◎社会モデルによる、移動権を認めた制度を求める。
- ◎身近な小規模店舗、避難所となる学校、ホテル等のバリアフリー化対策を求める。
- ◎都市と地方の格差解消対策、線から面への移動の連続性の確保対策を求める。
- ◎鉄道、バス等、交通機関設備の快適性、安全性の向上と、単独乗車可能にする対策を求める。
- ◎社会の変化に対応した定期的な法律、ガイドラインの見直しを求める。

**●福祉用具（補装具・日常生活用具）**

- ◎自立生活に必要な機器が、適確、迅速、安価に入手できるよう求める。
- ◎ユーザー視点に立った製品開発を求め、積極的に参画する。
- ◎福祉用具の適切な選択、使用方法を指導助言できる人材の育成を行う。
- ◎災害時に必要な用具や機器が届く福祉用具供給システムの構築を求める。

**●医療**

- ◎急性期・回復期に対応できる医療機関および訓練施設の充実を求める。
- ◎適切なリハビリテーション医療が受けられる専門機関の充実を求める。
- ◎高位頸髄損傷者に対する在宅医療支援制度および体制の充実化を求める。
- ◎喀痰吸引等研修カリキュラムの充実化を求める。

**●住宅環境**

- ◎自立生活者の輩出と社会資源の拡充を求める。
- ◎住宅整備・改修助成制度の改善（助成費用を適正額にする）を求める。
- ◎住宅問題解決と地域自立に理解を得るための講習会・勉強会を開催する。
- ◎住宅相談拠点設置と住宅情報および問題解決を図ることのできる人材の育成を行う。

**●所得保障・就労**

- ◎安心して自立できる障害年金、生活保護の支給額を求める。
- ◎仕事をして、サービス利用料を徴収される福祉的就労の矛盾解消を求める。
- ◎ADLの確立と、並行して職業訓練ができるリハビリテーションセンター設置を求める。
- ◎全ての頸損者が、均一な機能訓練、職業訓練、学校教育が受けられる体制作りを求める。
- ◎苦情相談、紛争解決調停システムの整備を求める。

平成29年度 全国頸髄損傷者連絡会 収支計算書  
平成29年4月1日～平成30年3月31日

収入の部

科目	金額
前期繰越	638,575
本部会費	61,500
本部運営分担金	684,000
寄付金等収入	787,196
本売上代金	5,974
機関紙等売上代金	3,756
受取利息	22
	2,181,023

支出の部

科目	金額
団体加盟費	24,000
事務所使用料	180,000
事務諸経費	59,110
通信・発送費	190,207
機関紙等印刷・編集費	463,329
会議費	104,459
旅費交通費	193,520
雑費	11,940
次期繰越	954,458
	2,181,023

上記のとおり報告します。

平成30年4月19日

会計

篠田 義久

平成28年度の会計について監査を執行し、収支は適正であり会計報告は正しく表示されていることを認めます。

平成30年4月19日

会計監査

三好 宏

平成30年度 全国頸髄損傷者連絡会 予算(案)  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部

支出の部

科目	金額	科目	金額
前期繰越	954,458	団体加盟費	85,000
本部会費	52,000	事務所使用料	180,000
本部運営分担金	650,000	事務諸経費	60,000
寄付金等収入	650,000	通信・発送費	200,000
		機関誌等印刷・編集費	500,000
		会議費	150,000
		旅費交通費	350,000
		予備費	50,000
		次期繰越	731,458
	2,306,458		2,306,458

## 全国頸髄損傷者連絡 茶話会（女子会）報告

大阪頸髄損傷者連絡会 鈴木千春

2018年度全国頸髄損傷者連絡会総会 in 大阪では、ここ数年の総会で「女子会茶話会」という枠で、日常の会話ではしにくい悩みや思いを、ここだけのものとして安心して話すことができる場ができてきたと聞いていました。他人事な書きぶりをしてしまいましたが、じつは私、総会での女子会に参加したことがありませんでした。総会事務局の主メンバーは男性頸損がほぼほぼ。そんな中で、今年は大阪なので女子会担当ね、と言われた時、正直おどおどしてしまいました。総会事務局の会議にも出れず、そちらにもご迷惑をおかけしました。色々困ったけれど、せっかくやるなら良い時間にしたい！と思った私は、以前のリーダーお2人にご相談をし、安心して裏方に徹しておりました。いざ、当日は参加者は13名と+ボランティアさんと介助者さん。共通した知識の共有と溢れ出るみなさんの思いであっという間に終了。改めて「声を出せる場が求められていること」を強く感じました。今後の頸損連の中での女性障害者に関する課題整理や、声を出せる場の設定なども考えていくことができれば良いなと思います。

話の内容は報告できませんがスケジュールはお伝えしておきます。

- 13:30自己紹介、安心して話すルール説明  
【前半】村田さんから「障害女性と優生手術」「DP | 女性障害者ネットワーク」についてのお話し  
【後半】坂東さんファシリでの「みんなで語り合う時間」
- 16:00終了

では、ファシリのお2人にも感想をいただきました！のでお読みください♪

今年の茶話会は例年の参加者間の近況と、日常の出来事を話すだけでなく、全国頸髄損傷者連絡会として女性障害者の問題を考える環境が出来つつある中で、今後どのように女性障害者の問題に取り組んでいくのかを検討する機会になりました。

その意味で、現在報道などで周知されてきた優生保護法被害者の国家賠償請求の起因である、強制不妊手術について語りました。いま現在も優生思想に裏打ちされた障害者=不幸という根強い偏見が、障害者、とりわけ女性障害者の結婚や出産に影響を与えていることを、お互いの環境の中で、捉えて考えることができたのは大きな成果です。

今後、女性障害者の問題を考える上で、障害者のジェンダー問題として女性障害者だけの茶話会とは別に、男性障害者を含めた交流もできるのではないかと感じた茶話会でした。村田恵子

大阪頸損の坂東由並子です。2018年5月5日・6日「全国総会大阪大会」に参加してきました。

5日はシンポジウムと交流会で充実した時を過ごし、6日は楽しみにしていた女子会でした。前半は旧優生保護法被害や女性障害者についての話しを聞き、後半みんなで語り合う時間ではファシリテーターをさせて頂きました。自己紹介のあと各々が抱えている問題や悩んでいることをフリートークで話していきました。頸損特有の悩みであったり不安だったり…女性だからこその悩みであったり…様々でしたが、ひとりの投げかけた言葉にみんなが経験の中から答えてくれる安心感が暖かい空気となり、普段はなかなか話せないことを話せたように思います。

私自身も不安に襲われることが多々あります。そういう時に同じ障害の仲間の言葉は大きな支えとなります。

これからも女性頸損の集まりを開催していきたいな…と思いました。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

これからも、頸損女性障害者の立場で考えたり・つながったり・安心して話したりできること、色々やっていきたいねーということになり、大阪頸損連とファシリのお2人（村田さんと坂東さん）のOKも出ましたので、関西では「今年度中にもう1回しゃべり場もしくはお食事会のような形で『場』を作ってみよう！」ということになりました！あとは私の事務局的作業（場所取りなど）がいつ動くのかが問題。きっと、みなさんの「楽しみにしてるで！」なんて言葉があったら、私のやる気スイッチ入るかもしれませんってことで、みなさんの期待やリクエストのお声も、お待ちしております！！

## 学生ボランティアとして参加して

兵庫医療大学 理学療法学科 1回生 奈須清香

私は今回2日間ともボランティアとして参加させていただきました。いろんな方のお話を聞いてみたいし、少しでもお手伝いできたらと思い参加しました。当日は予想以上に多くの頸損の方が来ており、車いすもそれについての機器も身体の可動域も様々で驚きました。シンポジウムでは、当事者の方のお話を聴き、頸髄損傷のきっかけが怪我や交通事故が多く、自分が当事者になることだってあるんだと実感しました。一人暮らしやスポーツ、仕事などみなさん何かと挑戦中だったり悩んでいたり努力されていて、私も刺激を受けました。同時に、こうやって同じ障害を持つ方が集まって話を聞いたり相談したりできる機会はとても大事だし、その集まりを少しでもお手伝いできたことが嬉しかったです。総会では、頸損者にとって多くの課題があることを知りました。医療者、それも頸損にも直接関わる理学療法士を目指す者として、学生のうちに当事者の生の声を聴けたことは大きいと思うし、課題解決に貢献できる理学療法士になりたいと強く思いました。

私は2日間とも、1人の方につかせていただきました。一緒に行動することで自分が普段何とも思わなかったり気付かなかったりした不便なことが見えてきました。身障者用トイレの場所、坂や段差の多さ、エレベーターは意外と狭くドアの開閉等1人では大変、人混みではカバンなどがよくあたるなど…。逆に、ホームから電車に乗る際に、段差や隙間がなくスロープがいないところがあるのは初めて知ったけど便利だなと思いました。こういうバリアフリーがもっと増えてほしいし、そのために自分にできることはないかということなどもこの先考えていきたいと思いました。

ボランティアに参加し多くの頸損の方と関わって、同じ頸損でもいろんな方がいること、困っていること、感じていること、様々なことを知り、また医療職を目指す者としてたくさん学ばせていただきました。これからの勉強や将来仕事でも役立つ経験になりました。この経験を今後活かしていけるように頑張りたいと思います。そして、また機会があればボランティアで参加し、もっとお話しを聞いてみたいと思います。2日間のいい経験をさせていただきありがとうございました。

兵庫医療大学 理学療法学科 1回生 横田奈弓

ゴールデンウィークに開催された全国頸椎損傷連絡会のボランティアとして参加させていただきました。大学生になってから初めてのボランティアだったこともあり、不安もありましたが2日間はとても楽しく、すごく勉強になりました。

当日、私の担当だった方がお休みということだったので、周りのボランティアの方とは少し違った経験もさせていただきました。1日目のシンポジウムでは、タイムキーパーということで話されている方に終わる時間の何分前かを知らせるという役割でした。時間を知らせないといけないので一番前の真ん中に座らせていただき、与えられた業務をしながら貴重な話を聞くことができました。1日目の夜は、お昼とガラッと雰囲気が変わり、みんなでいろんな話をしたり、歌を歌ったり大盛り上がりで、すごく楽しく、皆さんの笑顔に元気をもらいました。2日目は、大阪観光についていかせていただき、頸椎損傷の方と一緒に歩くことでさまざまな問題点に気づき、とてもいい勉強になりました。2日間とも大学の授業だけでは学べないようなとてもいい勉強になりました。

ところで私は理学療法士を目指している大学1回生です。理学療法士を目指し始めたころはスポーツにかかわる仕事をしたいと思っていたのですが、いろいろな話を聞く中でスポーツに絞らなくてもいい

のではないかという考えに変わりました。スポーツに絞らず、いろいろな方と関わり、患者に感謝されるような理学療法士になりたいと思うようになりました。また、病院内のサポートだけでなく、社会復帰できるように自宅に戻られてからもサポートできるような理学療法士になりたいと強く思いました。

2日目の観光に同行させていただいた際、電車の不便さなど問題点に気づきました。電車に乗る際、車いすに乗っている方でもスムーズに乗れるようにするなど、社会の問題を解決するための活動もしていきたいと思いました。私は、まだ1回生で未熟ですが、これからもっと勉強し、ボランティア活動も積極的に行っていきたいです。また、ボランティアとして参加していることも多いと思うので、どこかで見かけたり、何か困ったことがあればいつでも声かけてくれると嬉しいです。このようなボランティアに参加できたこと、大変うれしく思います。ありがとうございました。

## 「全国総会・大阪大会に参加して」

兵庫頸髄損傷者連絡会(広島在住) 大野 里子

全国総会・大阪大会に参加してきました。1日目のシンポジウムでは「頸髄損傷者が人生を回復してきた道～重度の障害があっても自分の人生をリカバリーできる社会へ～」というテーマで、柏岡さんの話を伺いました。受傷して現在に至るまで、いろんな感情と葛藤してきたのだろうなと思いました。第2部のパネラーの方々は個性豊かで、私も頸損当事者ですが、人ひとりの人生にはいろんなことが起こるのだなと思いました。いろんなことが起こってもたくましく、ユーモアを持って生活していることを勉強させてもらいました。心配なこと不安なことは先輩頸損の方が既に経験していて、大丈夫何とかなるよと言ってもらえるのは、本当に安心できます。

自分の障害受容については、こんなに大変で泣きたくなることなのに、受容なんてするかと思っていました。今、障害受容しているかできているのかはわからないのですが、生活にある程度満足していて楽しいことが見つけられると慣れてはいくなと思います。今の自分になりたい自分であるかどんな自分でいたいか大切なのだと思います。

そして2日目は総会の後、女子会に参加してきました。詳しい話題は秘密ですが、安心して話せる場を作ってくださったみなさんに感謝しています。受傷したとき女性の頸損の方に聞いてみたいことがたくさんありました。身体のことだけでなく生活のこと、男性の頸損の方には聞きにくいことや、聞いたって分からないし分かってもらえないことを、話せる人を見つけるのは難しかったです。受傷して8年目ですが少しずつ女性頸損の方と出会う機会ができ、今回この女子会への参加は2回目なのですが、時間が足りないくらい盛り上がりました。時間が足りないくらい話せるのも女性ならではの楽しみでしょうか。

今回、泊まりでついてきてもらう介助者の方が初めてで、緊張感もあったのですが、無事に家に辿り着き安心したのと刺激をたくさんもらい、また頑張ろうと言う気持ちになりました。準備で携わってくださった方々やボランティアの方々に感謝申し上げます。

## 初心忘れるべからず

愛媛頸髄損傷者連絡会 三ツ井 真平

愛媛支部会員の三ツ井といいます。漢字で書くと名前に小さいカタカナの「ツ」が入るので、お間違えの無いよう今後もよろしくお願ひいたします。

### 愛媛県の場所



私は受傷して8年になります。今回大阪の全国総会に参加して、大事なことを思い出してきました。受傷した当時のことを思い出すごうです。人間は時間が経つと当時どんなに苦勞し、つらい記憶だったとしても忘れていくなれます。私もその一人です。苦勞して辛いことをわざわざ思い出さなくていいのでは？と思われ人も多いでしょうが、私はそんなことないと思っています。それは全国総会に参加して思ったことです。

### 総会の様子



今回のテーマ、「人生を回復するための頸損連の社会的な役割」でしたが、私は障がい(C4 頸損)を持ち、人生に絶望していた中、自分自身の人生を新たに前に進んでいけたのは、同じような障がいを持っている先輩と話が出来たおかげです。というのは、障がいを持つと今まで抱いていた目標や夢というものを持ち続けることが難しくなるのかなと思います。そして、生きる意味というものも見いだせなくなります。今回の全国総会で行われたパネルディスカッションや、赤尾さんとの対談などであったように、受傷をどう受け入れたかは本当に人さまざまだと感じました。まだ引け目を感じている人。特に何も感じていなかった人。etc...

どんな人にも共通するのは、今を生きるということなんです。

ただ、当時は私も生きていくことに先が見えませんでした。そういう当時のことを思い出し、先輩の話聞く中で、自分もできる!生きていけるんだと目標を見出せたと思います。その役割は自分にも帰ってくるものだと思います。そういう当時のことを思い出し話すことは、次につながるとても大事なことだと思いました。

私事になりますが、当時のことを思い出せばなんと受傷して入院していた病院に行ってきました。

### リハビリをしていた病院



行ってみると忘れていた記憶、めちゃめちゃ落ち込んで人と話をするのも嫌だったこと、リハ

ビリが嫌いだったこと、先輩との初めての出会いのこと、そして病院なのにホテルと間違い月に何組か病院にくる人がいる(外装がピンクなので)ということ、くだらないことまで思い出してきました。受傷し、8年になりますが、無駄な思い出はありません。今は時代も進み(これからということも多いですが)在宅で暮らせる支援や制度もあり、昔よりは病院などで障がいの人たちと関わる期間も短くなった気がします。いいことなのでしょうが、寂しいような気もします。

何より今あるものが当たり前ではないということを感じます。先輩たちが作り上げてきたものだということを忘れてはいけないと、壇上に立たれていた方も言われていました。私もその役割がある一人だと感じさせられました。

そして夜に行われた交流会ですが、圧巻でした! 役員の交代があり、交代する先輩に安心してください! 私たちが今後は引っ張っていきます! と全力で出し物をしていた姿はすごい一言しか出ません。

#### 司会の様子



特に皆さんの歌はあっぱれでした! 頸損にとって歌とは肺活量のリハビリといわれますよね?(私だけですかね?)個人差はあるかと思いますが、私は1曲目の半分くらいで目の前が白くなりだします。

それを今回の実行委員の方がコーラスで歌い、それも2-3曲。すごい! 全力で先輩、若手の方が全力でおもてなししようというのが伝わってきました。

#### 仮装の様子



そして仮装大会。ここまで先輩にされたら若い人もやらねばという気持ちになりますね。

私もまだ20代で、私たちの世代になったら…と思うと想像も尽きませんが、今から同じ世代とのつながりを大事にして、活動していけたらと感じました。

やはり総会ともなると、今までのつながりでグループができ、時代を共に生きてきたというのが雰囲気でも伝わってきました。そういう先輩たちから過去を学び、次に自分たちから後輩に伝えていくために、なによりつながりは大事だなと思いました。

若い人も年々増えていっていると思います。そういう人たちともつながれる機会なので、話す場所にもしていきたいです。

私の地元にも大阪のおもてなしを全力で伝え、さらに地元から全国へ、高みを目指して頑張っていこうと感じました。

今回の大阪大会の実行委員をされた方々、本当にお疲れ様でした。

そしてありがとうございました!

## 上を向いて泳ごう

大阪頸髄損傷者連絡会 大向 優貴

### 1. 事故をしてから入院を経て帰宅し現在に至るまでの経緯

大学2回生の2012年8月出身高校のプールに飛び込み、頭部を底にぶつけ、頸髄損傷となる。1カ月急性期に入院後、回復期病棟のある病院に5カ月入院する。その後自立生活訓練センターに約1年半入所し、大学へ復学する。復学と同時に1人暮らしを始める（正確には半年ほどは大学の元同級生とルームシェアしていた）。もともと目指していた作業療法士の資格を卒業時に取得し、現在は週2回出勤しながら水泳でパラリンピックを目指している。

### 2. 頸髄損傷を告げられた時の心境（受傷当時の心境）

私は作業療法士を目指していたので頸髄損傷のことは知っていたし、頸損連絡会のイベントにも参加したことがあった。しかし、いざ自分がなってみると、これからの将来がなにも想像できないことや自分で何もできないことへの不安に驚いた。入院中は体もしんどかったし、プラスなことはなかなか考えられなかった。できなくなったことを考えることが多かった。

### 3. 障害受容はいつ頃？（障害受容のきっかけ）

まず初めに、私は基本的に「障害受容」という言葉が嫌いだ。「受容」とはどのような状態のことを指すのか。どんな尺度で「できている」「できていない」を分けるのか。明確なものがないまま各々がさも共通認識のように使うことにも、1人1人気持ちの変化なんて同じではないのに1つの言葉でまとめてしまうことにも違和感を覚える。

私は今でも障害のことで落ち込むことがある。特に排泄関係は、ある程度対応はできるようになったが、慣れないし、慣れたくもない。だから、私はまだ障害受容ができていないのかもしれない。しかし結局尺度があいまいなので考えたところで「受容」できているのかはわからないまま。答えに行きつかないのが嫌いだ。

しかし、受傷してからの心の変化は多い。障害ともずいぶんうまく付き合えるようになった。1番、私の心に大きな変化があったのは、自立生活訓練センターに入所していた時だ。そこでは私以外の多くの脊損の人と、寝食を共にした。施設の職員さんもいい人ばかりだった。私以上に退所まで気をもんでくれたPT・OT、優しい支援員さん、熱心に水泳やほかのスポーツも教えてくれた体育指導員さん、たくさんの方が支えてくれた。障害者同士でこの体になって嫌なところや、生活の工夫などを話したり、協力したり、一緒に頑張ったり…そういった生活の中で新しいことへのハードルもどんどん下がっていった。仲間がいて支えてくれる人がいる環境だったからこそ、いろいろなことができたのだと思う。

また、病院の入院時代に比べて、少しずつできることや対処できることが増えたというのも心の変化につながった。

最近では障害を最大の短所と思っている。鼻が低い、空気が読めない、そんな短所の1つとして。でも、短所は裏を返せば長所にもなりえる。例えば、私は頸損になっていろんな人に出会い、いろんな感情を知ることができた。頸損になったからこそ得たことだ。失ったものばかりではない。それは、他の人にとっては取るに足らないことかもしれない。しかし私はそんな頸損になったからこそ得たこともあるのだという事実を大切にしていきたい。

しかし、ふとしたエピソード1つをきっかけに、普段は気にしないようになった短所で落ち込むことだってある。例えば、小さなころから自分の容姿に自信がなかった女性がいるとしよう。成長して、オシャレやお化粧をして、いろんな経験を経て自分の容姿も1つの個性だと考えられるよう



になった。そんな女性が好きになった男性の彼女がすごく美人だと知ったとき、突然自分の容姿が嫌になって落ち込んでしまうなんてことはよくあることではないだろうか。私は障害も同じだと思う。いくらか気にしないようになっても、突如として自分がどうやっても変えられない事実と直面した時には、やはり障害を意識せざるを得ない。そういうものだ。だが「受容」という言葉はあまりにすべてを受け入れるようなイメージを与えることから必要以上に人を悩ませているように感じる。

#### 4. 今の自分とこれからの自分

##### ○自分の経験から人に伝えたいこと

受傷してすぐの自分には、今の自分は想像もつかなかった。

受傷してすぐは、他の人には何でもないことでも、自分にとっては大きな第1歩の連続だった。受傷当時の自分にはきっと今の自分は想像もできないだろう。見通しがいい中で前に進むのは恐ろしく怖い。それでも前に進んでこられたのは支えてくれる家族やセラピストがいて、一緒に進む仲間がいて、そして自分の今後は想像できなくても知識・情報はあったからだと考えている。挑戦することは自分の能力を正確に知ることになるし、うまくいけば自信がつく。私が挑戦するうえで必要だと思うことは2つある。

1つは自分の中でしっかりとマニュアルを作り上げていくことだ。いろいろな経験を重ねていく中で、時には失敗をしながら、どうすればいいのか、早いのか、手間がかからないかを見つけてきた。だからこそ新しいことに挑む時どうすれば良いのか考えることができる。自分自身のマニュアルを作っていくと、それは新しいことに挑戦するときの安心材料になる。自分でもなんとかできる。でも福祉機器があれば楽にできる。人に手伝ってもらえば早くできる。マニュアルの中に選択肢がたくさんあると、いろんなシーンで対応ができる。また、しっかりとしたマニュアルができていると余裕ができる。だからこそ新しいことにもエネルギーを注ぐことができる。そういった生活が自信につながっている。

2つ目は挑戦を楽しむことだ。何か新しいことに挑戦すること、それがとてつもなく勇気がある

ことだとは健常の頃の自分には思いもよらなかった。受傷後は何をしても不安で仕方なかった。しかし、実際にやってみて後悔したことは1度だけではない。いや、失敗したときは後悔しているのだろう。だが、それ以上にできた時の喜びのほうが大きい。そして成功体験は自分の自信にもつながっていく。また、やりたいと自分で動くこと、発信することで、周りも一緒に考えてくれ、そこで新たな出会いがある。何もしなければなかった出会い・エピソードがあると思うとやはりやってよかったと思ってしまう。挑戦すること自体がとても意味のある大切なものだと私は思っている。

##### ○アスリートになって



はじめはうまく泳げないが、慣れれば、水中はどこよりも自由だ。私はいつまでたっても、もう1度プールに入れた時の喜びを忘れることが出来ない。飽き性だけど、選手としてガツガツやってきたわけでもないけど、ずっとプールに入ったり、海に行くのは大好きだったから。障害を負ってからの水泳は泳いでるのか、溺れているのか、周りから見るとわからないくらいの泳ぎだった。それでも楽しくて、少しずつできることも増えてきて…気づけば今に至る。

パラ水泳には身体は10個、視覚は3個、知的は1個のクラスがある。クラスが障害の程度によって細かく分かれているのだ。障害別で分かれているわけではない。私のクラスは脳性麻痺や四肢欠損などと同じクラスになる。

水中は陸と違って固定点がない。そして私達、障害者は不完全でアンバランスな中でどうすれば少しでも速く進めるのかを見つけていく。浮き具も何もつけてはいけない。でもうまく体を使えば水が味方をしてくれる。水泳の世界は面白い。

就職の際、私にはいくつかの選択肢があった。

国家試験を受けられるのかわからなくても作業療法士としての職を探すか、水泳を続けるか、その他の仕事を探すか。私の未来予想図では4年で大学を卒業し、作業療法士として普通に働くつもりだった。ずっと思い描いていた予想図が崩れてしまっているのなら、自分のやりたいことをしたいと思った。もう少し自分と向き合いたいという思いもあった。作業療法士や会社員はいつでも出来るが東京を目指すのは今しかない。勝手に、運命を感じていた。理由はたくさんあるけど要約するとシンプルに1番やりたかったのだ。

ただアスリートとして雇われるだけではなく仕事もすることを望んだ。それは、アスリートをやめた後の自分を考えてのことだった。水泳だけに集中できる環境も作れたのに、もったいない、アンパイに流れたな、と思う人もいるかもしれない。だが、それが私の1番安心して進める道だったのだから特に後悔はない。

受傷して数年で、ここまでアクティブなのはすごいと言われることがある。私と他の人の違いは何だろう。運が良かった。それに尽きると思っているが、もう少し詳しくいえば、情報と、それに伴う価値観が大きいと思う。

私は受傷した年の年始にこの大阪頤損連の新年会にOTの学生としてボランティアで参加していた。年に1度の催しを楽しむ皆さんを「なんだかいいな」と見ていた。障害を負っても自分のやりたいことをやっている人々を知っていた。皆さんは自分が障害者になる前、障害者に対してどんなイメージを持っていたらう。そして、今は。

私は前情報がたくさんあったので、きっと他の人より受け入れやすかったのだろう。大げさに言えば、大阪頤損連のおかげで今の自分がある。

私は障害を負い、何もかも終わったかのような人を見ると、障害者を全身で否定されたようで悲しくなる。

落ち込む時期があることは自然なことだと思う。私だってそうだった。当時はOTを目指し、頤損の人とも関わってきていたのに、すごく落ち込んでしまっている自分が嫌だったが、それだけなくしたものは、想像以上に大きかったのだ。しかし、落ち込んだとしてもいつかは現実を見なければ、前に進めない。障害にとらわれすぎて前を向けずにいるのは、とても「もったいない」と思

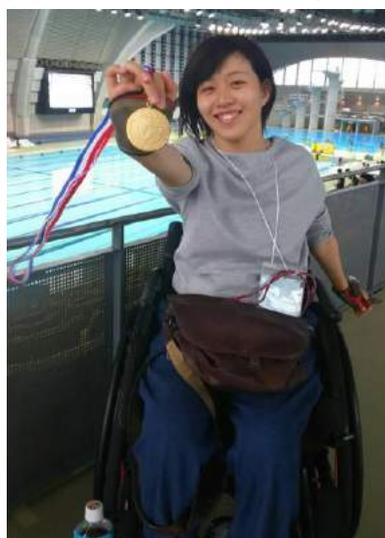
う。これからも人生は続けし、この人生は1度きりなのに。そして、今はこれからの人生の中で1番若いのに。

私の周りにはいるのは、外に出てくる元気な障害者がほとんどだ。でも、そうじゃない人もたくさんいるはず。情報や知識が乏しいため、前を向く材料が見つからず、落胆している人が。そんな人達に私を知ってもらいたい。そして「こんな奴にできるなら、自分にもできるんじゃないか」という気持ちになってもらいたい。

何かをすれば、落ち込むことも、うまくいかないことも、嫌になるくらいたくさんある。だけど、楽しいことも、笑えることも、思いがけないこともたくさんある。そんないろいろな感情や出会い、エピソードに彩られた人生は振り返れば笑顔になれると私は信じている。

私はアスリートとして、頤損として、作業療法士として、大向優貴として、これからも私らしく、日々を楽しんでいきたい。私が私らしくいること。それは、私のわがままを聞き入れて支えてくれた方々に対する私ができる恩返しだと考えている。曲がりなりにも作業療法士を目指し、実習で患者様をみさせていただいたこともあるから思うことなのかもしれない。私は担当した全ての方に幸せになってほしいと願う。そう思うからこそ私も私に関心を持ち、支えてくれた方々にいつでも笑って今の自分を話せるような自分でいたい。

皆さんも、もし、つつい考えてしまうけど、怖くて怖くて踏み出せないでいることがあれば、勇気を出して挑戦してほしい。まずは言葉にすることから。それも大きな第1歩だ。



## 総会オプション企画・難波コース

大阪頸髄損傷者連絡会 杉本 真一

全国総会大阪大会のオプション企画として、2日目の午後から天王寺コースと難波コースに分かれての大阪観光が組み込まれました。今回は私が参加しました難波コースの様子について報告したいと思います。

さて、当日は当事者、介助者及び学生ボランティアを含めて合計約20名の参加者が、3グループに分かれてのツアーとなりました。なお、私自身、大阪生まれ大阪育ちの43歳なんですけど、じっくりと難波を探索したことがなかったので非常に楽しみにしていました。

まず、難波に降り立っての第一印象は人の多さでした。そのため、道頓堀松竹座玄関前からの出発だったんですが、ガイドさんの説明も聞こえない程でした。特に、当日はゴールデンウィーク最終日ということもあってか、キャリーバッグをひいている観光客が特に目立ちました。そのため、参加者は細心の注意を持って車椅子操作をしなければならず大変でした。

次に戎橋に移動し有名なグリコの看板の前に

到着しました。さすがに難波のシンボルだけに、一緒に写真に納まろうとされている方が沢山いました。ガイドさんから、「この看板は6代目で、先代まではネオン管が使われていましたが、14万個のLED照明に変更されています」という説明があり、ここにも時代の流れを感じました。

その後、法善寺に移動しましたが、ここまで来ると観光客は少なくなりましたが、今度は風情ある石畳が難敵！？となりその振動が半端なかったです。

ただ、願いを込める人たちがかけた水で、全身に緑の苔がびっしりな水掛不動尊を拝見することができました。私も少しは！？貢献させて頂きました。

最後、吉本なんば花月に行きましたが、再びすごい人波でした。正直、こんなに人気があるとは思っていなかったので、驚きと共に今度はゆっくりと舞台を楽しみたいと思いました。

なんばグランド花月  
芸人さんキャラもお出迎え

## 「バリアフリー法改正」と残る課題

副会長 八幡 孝雄

5月18日、国会で「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案（以下：改正バリアフリー法）」が可決成立した。

当事者運動では、バリアフリー法の問題を整理して、国や国会等に様々な形で届けてきた。法律には盛り込まれなかったが、衆・参院の付帯決議に、私たちが届けた課題が立法措置の必要な事項として書き込まれたことは、一定の成果であったと思う。

### ■「移動の権利」は明記されず

政府は障害者権利条約批准国として、バリアフリー法改正に於いて、条約「第9条 施設及びサービス等の利用の容易さ（原文 accessibility）」の、基本的権利としての移動の権利を認めた法改正を行わず、批准国の義務を果たしてはいない。国は「移動権については、社会的コンセンサスが得られていない」とコメントしていると伝え聞いている。

### ■評価される改正点は

改正バリアフリー法に「社会的障壁の除去」「共生社会の実現」が基本理念として盛り込まれた。

またバリアフリー整備を的確に推し進めるためには、障害者が評価し、施工や施策に反映させる仕組みが不可欠であり、障害当事者を構成員とした「評価会議が新設」されている。

### ■バリアフリー社会への残る課題

自由に社会参加のできるアクセシブルな移動環境は、移動権が基本的権利として認められなければ得られないと考えている。また格差を広げる画一的な基準や制度を、段階的に撤廃していく施策が必要だ。

駅のバリアフリー整備は、乗降客3,000人以上という基準で進められた為、都市部のバリアフリー化は進んだが、地方は遅れている。無人駅も増え、地域間格差は広がっている。

建物関係のバリアフリー化は1990年代からほとんど進展がない。床面積2,000㎡以上の特別特定建築物しかバリアフリーの基準適合義務がなく、身近な小規模店舗のバリアフリー整備が進まない要因になっている。

災害時の避難所となる、学校のバリアフリー整備も必要であるが、地域の公共施設である一般の学校には、バリアフリー法の基準適合義務がない。地震ばかりでなく水害も考慮した避難所として、学校全体のバリアフリー整備が必要である。

また民間に多いバリアフリー化への努力義務は、努力したけど出来なかったと幾らでも言え、努力していないという事を証明する事は難しい。特定建築物に指定されている多くの建築物の室内についてはバリアフリー化の義務はなく、バリアフリー化された入り口までしか行けない。努力義務が多く、施設のバリアフリー整備が施設管理者の気持ち次第という制度であってはならない。

国際基準のオリパラ開催に向け、ホテルなどの宿泊施設のバリアフリー対策は、急ぎ対策の必要な重要課題として検討委員会が設けられている。

### ■さらなる移動環境の向上のために

障害者差別解消法が求める必要な環境の整備という観点から、移動の円滑化を求める方法もある。

地方公共団体は、バリアフリー法に上乘せ・横出しできる委任条例を策定できるが、福祉のまちづくり条例を、建物の床面積を引き下げて義務基準にできる委任条例化を求めた積極的行動が必要である。

### ■最後に

誰もが「他の者との平等」を実現できる社会を作るため、「移動の権利」が社会のコンセンサスを得られるように、全国の仲間と連帯した地道な活動を続け、次の法改正につなげなければならない。

# 新聞／報道ピックアップ

4月17日読売新聞

## 東京五輪・パラへバリアフリー化

# 駅から会場 車いす一苦勞



国立代々木競技場へ向かう八幡さん（左から2人目）と今西さん（手前）。車いすでは歩道橋を渡れず、速回りした（3月15日、東京都渋谷区で）＝高橋美帆撮影

2020年の東京五輪・パラリンピックでは、競技会場だけでなく、会場までの移動ルートもバリアフリー化が必要だ。東京は、高齢者や障害者、大きな荷物を持つ人なども観戦に行きやすい環境になっているのか。車いす利用者とともに検証した。（桑文野）

五輪ではハンドボール、パラリンピックでは車いすラグビーなどの会場となる国立代々木競技場（東京都渋谷区）。3月15日、車いす利用者の八幡孝雄さん（62）と今西正義さん（69）と一緒に、JR新宿駅から向かった。まず、電車に乗るため、新宿駅西口の改札で職員に誘導を頼む。混雑する改札内で待つこと10分。ようやく

後、車いすでなければ15分ほどで行ける。今西さんは「エレベーターのサイズと数を確保し、ホームと車両の段差を解消した上で、係員の誘導方法なども改善しないと、大会期間中は大混雑し危険だ」と話す。原宿駅を出て駅前の車道を渡れば、競技場の入り口だが、車道に歩道橋はあるが、横断歩道はない。車いすでは歩道橋の階段を上り下りできないため、約400メートル離れた横断歩道を渡るしかなかった。車道の両わきの歩道は、石畳になっている部分がある。八幡さんは「道の凸凹や、車道

### 東京五輪・パラリンピックの主な会場と最寄り駅間のバリアフリー状況

施設	主な課題
国立代々木競技場（渋谷区）	原宿駅と競技場間の車道に歩道橋しかなく、車いす利用者は速回りしなければならない
日本武道館（千代田区）	九段下駅から急な坂道が長く続き、車いすでの移動が大変
東京国際フォーラム（千代田区）	JR有楽町駅で、会場に近い改札が車いすで通過できない
お台場海浜公園（港区）	台場駅からの道が悪く、車いすで移動しづらい
大井ホールー競技場（品川区、大田区）	大井競馬場前駅の券売機が、車いすでは手が届かない人もいる

（DPI日本会議の報告書などから）

## エレベーターや歩道検証

と歩道の間のこととした段差も、車いすの場合、体に振動が伝わって負担が少なくない」と教えてくれた。歩道橋にも課題が見つかった。踊り場に視覚障害者用の誘導ブロックが敷かれていないため、階段の始まりと終わりが分かりにくく、危ない。2人がメンバーになっている障害者団体「DPI日本会議」（東京）は昨年夏、国立代々木競技場を含む主な競技会場22か所を対象に、最寄り駅までのバリアフリーの状況を調査。課題が多いことがわかった。表

交通機関や道路のバリアフリー化は、大会組織委員会の指針に基づき、鉄道事業者や道路を管理する自治体などが行う。JR東日本では大会までに、原宿駅などでホームやエレベーターを新設する。東京メトロも、会場の最寄り駅でホームドアやエレベーターの拡充を計画している。交通事業者は、主要駅の段差解消などの計画作成を義務つける改正バリアフリー法案も国会で審議中だ。だが、八幡さんは「費用がかかるし、残り2年で利用者の意見を反映した改修がどこまでできるか」と不安を募らせる。組織委では、会場と駅が近い場合に、車いす利用者が乗れるシャトルバスを走らせることも検討している。ただ、大会後は運行されない。移動の不便だけではない。車いすでは利用できない飲食店も多い。今西さんは「『何を食べたいか』ではなく、『入れるかどうか』で店を選ぶしかない。飲食店を含め、人々が日常的に利用する場所のバリア解消こそ、超高齢社会の日本にとって、東京五輪・パラリンピックの真のレガシー（遺産）になるのではないかと話している。

2018年3月30日 朝日新聞デジタル

### 東京パラ見据えた策も 第4次障害者基本計画を閣議決定

政府は30日、障害者の自立や社会参加を支援する様々な施策の土台となる2018～22年度の「第4次障害者基本計画」を閣議決定した。20年の東京パラリンピックを機に、施設やサービス、情報、制度などあらゆる面で「アクセシビリティ」（利用のしやすさ）を高めることなどが柱だ。

アクセシビリティの向上策では、1日の利用客が平均3千人以上の駅や空港など旅客施設のバリアフリー化率（段差解消）を16年度の87%から20年度に約100%に、ノンステップバスの導入率を53%から約70%に高める目標を掲げた。

また地域ごとに自治体や医療機関、PTAなど関係機関が連携する「障害者差別解消支援地域協議会」の組織率を、市町村（政令指定都市など除く）で17年4月時点の38%から22年度に70%以上へ高めることを目指すとした。障害を理由とした差別などを禁じた障害者差別解消法（16年施行）の実効性の確保を狙う。（生田大介）

-----  
2018.6.15 産経ニュース

### 東京五輪を機に社会的障壁除去 政府「障害者白書」を閣議決定

政府は15日、障害者施策の概況を報告する「平成30年版障害者白書」を閣議決定した。3月に決定した「第4次障害者基本計画」を冒頭で取り上げ、2020年東京五輪・パラリンピックを機に、障害者にとっての社会的障壁を取り除く取り組みを強力に進めるとした

具体的には、公共交通機関のバリアフリー化などを推進し、安全で安心できる生活環境を整備するとともに、障害者に対する差別意識の解消に取り組む。子どもが障害の有無にかかわらず可能な限り一緒に教育を受けられる仕組みを整え、共生社会の実現を目指すとした。

障害者白書は、障害者基本法に基づいて平成6年から毎年国会に提出されており、今回で25回目。

-----  
2018年6月20日 毎日新聞 地方版

### 名古屋城天守閣 木造復元 エレベーター求め抗議 障害者ら500人 /愛知

木造復元後の名古屋城天守閣にエレベーターを設置しない名古屋市の方針を巡り、県内の障害者団体などでつくる「名古屋城木造天守にエレベーター設置を実現する実行委員会」が19日、方針撤回を求め、同市中心部で抗議活動を行った。

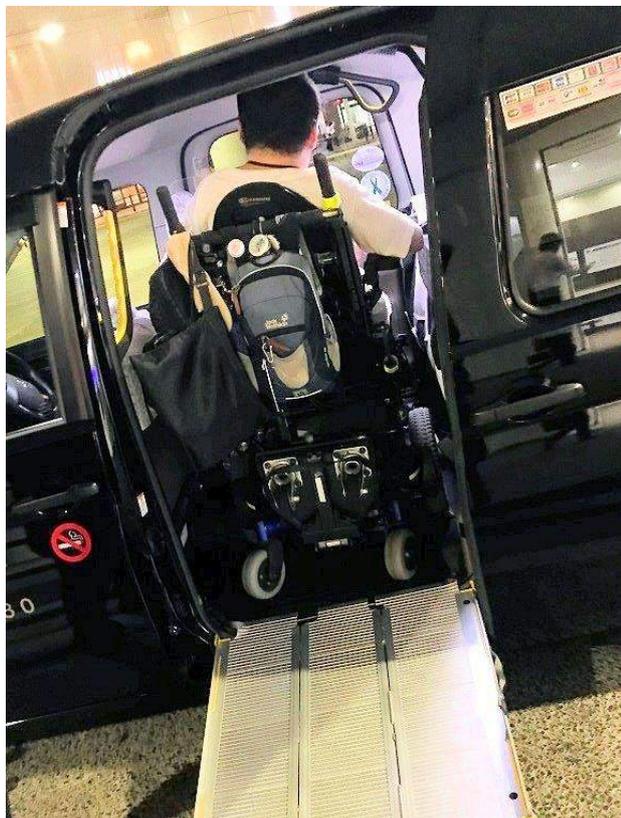
愛知をはじめ東京や大阪など、16都府県から約500人の障害者らが参加した。参加者は「名古屋城にエレベーターを！」と書かれた横断幕を先頭に、電動車いすなどで名古屋市中区のエディオン久屋広場から名城公園までデモ行進した。中には「誰もが登れてこそ『名城』や「でら差別やて」などと書かれた紙を掲げる人もいた。会の共同代表を務める斎藤懸三さん（69）は「名古屋だけではなく、全国的な問題。こんな障害者差別が全国で起きたら大変だという思いで、多くの人が参加してくれた」と話した。

参加者の中には、市役所前で同日午後5時から21日午後5時まで48時間のハンガーストライキをする人もいるという。【三浦研】

## 「“流しの”UDタクシー（JPNタクシー）初乗車体験記」

東京頸髄損傷者連絡会 鴨治 慎吾

去年から運用しだしているトヨタのJPNタクシー（通称：ジャパntaxi）に乗車しました。



（自宅最寄駅前ロータリーにて降車）

先日、用事を済ませ帰宅しようと東京都杉並区高円寺駅前行き、本数の少ないバスに乗ろうとしたら、駅ロータリーにJPNタクシー（ジャパntaxi）を発見！このタクシーは見た目で見分けやすいので、介助者に手を挙げてもらいました。タクシードライバーの方もすぐ気づき、停車。電動車いすが利用する事を告げると、『乗車スペースと準備に少し時間がかかりますが、良いですか？』との事。元々、流しのタクシーを利用して来たかったので、即決で「はい、お願いします。」タクシーをロータリーの空きスペースに移動、乗車準備へ。今まで何度か乗車を試みたが、スルーされたり、乗車準備が分からないという事で乗れなかったが、今回はすんなりと乗車OKでした。

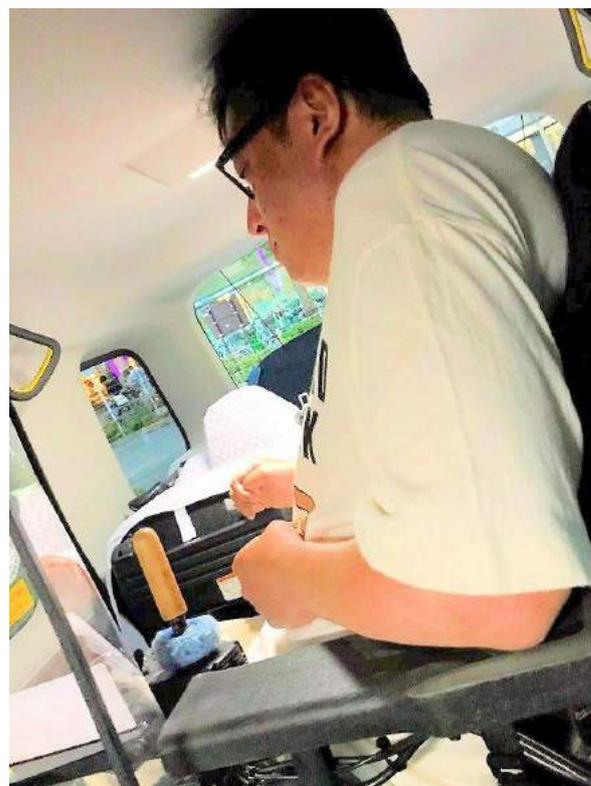
◎ジャパntaxi初乗車！

車内は、仕方がないがそう広くはなかったです。但し、前の座席が折られたため、前方に動くので前を向くことも可能だと思います。

後部に荷物スペースがあるので、ある程度の物なら問題ないです。

問題は、車内の高さです。130cmを超える私は、乗車時に少しリクライニングを倒さないと頭がぶつかります。車内でも、髪の毛が擦るくらいギリギリでした。あとで、ジャパntaxiのHPを見ると、“130cm以下が乗車可能な車いすの寸法目安”と記してありますが、備考欄に“※リクライニング機構付車いすの場合、リクライニング状態で上記寸法内であれば乗車可能となります。”とも記してありました。（JIS規格：幅700/長さ1200/高さ1200mm）以内であれば基本的に乗車可能。

車内に余裕はありませんが、介助者と共に乗車出来ました。乗り心地は、まあ普通のタクシーと同じで特別問題はありませんでした。



（頭ストレスです）

◎今回乗車して分かったのですが、ハード面はもちろん、ソフト面での問題も沢山あると思います。今後、当事者側も意見・協力し、色々の面で改善を模索していき、いつでもどこでもタクシーが使えるようになっていく社会にしていきたいと思います。

## AI スピーカー「Clova WAVE」

全国頸髄損傷者連絡会 宮野 秀樹

最近流行？の AI スピーカー、みなさんもテレビ CM や WEB 等でご存じだと思います。スマートスピーカーとも呼ばれ、AI（人工知能）が搭載されたスピーカーです。ウィキペディアで調べると「スマートスピーカーは、対話型の音声操作に対応した AI アシスタント機能を持つスピーカー。内蔵されているマイクで音声を認識し、情報の検索や連携家電の操作を行う。日本では AI スピーカーとも呼ばれる。」と説明されています。

国内の大手メーカーが競うようにして発売し始めたこの AI スピーカーを、実際に使用したので、使用感について報告をします。

AI スピーカー。テレビ CM を見てパッとイメージしたのは「音声入力環境制御装置」。環境制御装置の一方的命令ではなく、スピーカーと対話しながら指示ができる双方向型環境制御装置といったところでしょうか。単純に言えば某有名通信事業会社のロボット「Pepper」を超小型化・簡略化した機器…余計にわからなくなりますね。とにかく安価で高性能な家電だと思ってください。

私はいろいろなメーカーの中から超大手を避け、LINE 株式会社から発売された「Clova WAVE（以下、クローバ）」という AI スピーカーを入手し、使ってみることにしました。なぜクローバにしたかという、購入時期に「家電製品を制御する機能」を持っていたのがクローバだけだったからです（現在では他メーカーからも出ています）。環境制御装置との使い比べをしてみたいという思いもありました。購入価格は約 13,000 円。便利に使えるのであれば、出してもいい金額ではないだろうか。どれくらいのクオリティーか試しに使ってみました。ちなみに発売元が LINE（株）なので、LINE が使える機能が標準装備です。

箱から取り出してまずはセッティング。サイズは高さ 20cm、幅 14cm の円錐型。電源アダプターがあるので、コンセントが近く、操作したい家電に赤外線が届く位置にセッティングする必要があります。どうやって設定するのかな？と取扱説明書を見て驚いた。Wi-Fi 環境であるのと、スマ

ートフォンで LINE Clova アプリを使わないと設定ができないらしい。そりゃそうですよね。ネットを利用しての情報サービスを行うわけですから、ネット環境が必須なのはわかります。でも、スマートフォンのアプリを使わなければ設定できないとあらば、スマートフォンを持っていることがクローバを使うための必須条件となります。Wi-Fi とスマートフォンが使用必要条件なのは、他者の AI スピーカーも同じなのだろうか？どこかで「AI スピーカーがあれば、もうスマホはいらない！」なんてキャッチコピーを見たことがありますが、「いるやんか！」と思わずツツコミたくなりますね。



テレビと照明に赤外線が届きやすい位置に配置



テレビとクローバの位置関係

アプリで私の個人情報を登録し、早速使ってみることに。その前に「さすがにクローバって呼ぶのは恥ずかしいよな。」ということで、呼び方を替えられるのか調べてみることに。ちなみに呼び名は「エリザベス」にすることを購入前から決めていました。ところが調べてわかったのは「変更不可」ということ。「クローバ」か「ジェシカ」の2つしか選べないようです。「ジェシカ」は私の好みではないので、仕方なく「クローバ」に決定。個人情報登録時にもうひとつ気づいたのがLINE IDも登録する必要があります。LINEを使うためなんですけど、登録する情報が多いので、若干面倒くさいです。

家電もどれくらいの機器が操作できるのか？とワクワクしながら「音声リモコン」設定画面を見ると、登録できるのは「テレビ」と「照明」のみでした。ちょっと期待外れ。「クローバ！電気をつけて」「クローバ！テレビをつけて」と呼びかけると「はい」とその操作を行ってくれます。テレビに関しては、「テレビのチャンネルを8にして」「テレビの音量を3段上げて」「テレビの音を消して」というとそのように操作してくれます。家電との相性がよければ、もっと細かい操作ができると思います。照明も同様の使い方ができます。2つだけしか家電が使えないのは残念ですが、今後他の家電が操作できるようアップデートされることを期待したいです。

LINEの使用感にも触れておきたい。まず、ガツカリのお知らせになりますが、LINE通話はこのClova WAVEではできません。Clova Friendsというちょっと仕様が違う製品ではLINE通話ができるらしいです。結構期待していたのに残念です。これもアップデートで使えるようにしてほしい。クローバでLINEを使うためには家族アカウントを作る必要がある。そのアカウントにトークができる友達を登録していきます。登録する際にはクローバが認識しやすい「呼び名」を設定しなくてははいけません。「クローバ！LINEメッセージを送って」と呼びかけると、「はい、どなたに送信しますか？」と質問されるので「カモジ」と応えると、「カモジさんですね！メッセージ内容をどうぞ」と返ってきます。「おつかれさま」と答えると「おつかれさま、で送信しました」とメッセー

ジを送信してくれます。届いたメッセージがある時に「LINEを読んで」と呼びかけると「はい、〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分、カモジさんからメッセージ“おなかが空いたよ”」と読み上げてくれます。ただし、読み上げてくれるのは一度だけなので、よく聞いておく必要があります。このような感じで、LINEに関しては結構使えます。長文もときどき誤変換がありますが、割と認識率は高いように感じます。簡単なやり取りに使うのが今のところベストなのではないでしょうか。

他にもカレンダーをGoogleカレンダーか iCloud カレンダーを登録して連携させると「クローバ！今日の予定を教えて」と呼びかけてスケジュール確認を行えます。私は予定をよく忘れるので、何気に便利に使っています。

天気や占いなどもあればあったで便利です。占いは、予め生年月日を登録しているので「今日の運勢は？」と聞くと「今日の牡牛座の運勢は～」と教えてくれます。介助者の運勢も聞いてあげることで、なんとなく会話が弾みます。ちなみに、誰の声でも認識はするので、介助者も気軽に話しかけています。

購入時に特典で付いていたLINE MUSICの12ヶ月無料も実際に登録して使っています。「竹原ピストルのフォーエバーヤングをかけて」と呼びかけると流してくれます。当たり前のことですが、LINEですからLINEに特化したサービスが上手く使えるようになっています。言い換えれば、LINEを使い込んでいない人には使い勝手が悪いかもかもしれません。購入を検討するときは、各会社の製品の特徴をしっかりと調べたほうがいいですね。

約半年間使ってみましたけど、まだ基本的な使い方しかできていませんので、良さや欠点が個人の意見に偏っているかもしれません。それでもこの双方向型のAIアシスタントは、使っていくうちに愛着がわいてきます。AIスピーカーを通じて、他者との会話も生まれるのですから、双方向というより多方向にも効果を発揮しているのかもしれない。「便利な時代になった」ことをつくづく感じさせるこの未来型家電をもう少し使い込んで、また情報提供したいと思います。

## AIスピーカー「Google Home」

全国頸髄損傷者連絡会 鴨治 慎吾

先日、友人と最近各社が一斉に発売した AI スピーカーについての話が盛り上がりました。「言葉の認識は良いのであろうか?」、「電話として使えるか?」、「環境制御装置(ECS)の代わりになりうるか?」など話題は尽きなかったです。

ある程度調べてみると、環境制御装置に比べてみると安価でインターネットや量販店で簡単に購入出来ることが分かりました。現在主に3メーカーの AI スピーカーが主流であると思います。Amazon Echo (アマゾン・エコー)・Google Home (グーグルホーム)・Clova Wave (クローバ・ウェーブ)です。メーカーによって特色を出しているが、実用的なものは大して変わらないような気がしました。

あまり良く考えずその時CMで良く流れていた「グーグルホーム」を購入。この選択が後で色々な事が分かるようになりました。そのことは後ほど。

楽天で約 13,000 円で購入。2~3 日後に到着。早速、箱を開けてみると形は円柱形で、サイズは高さ約 15cm 幅約 10cm。AC 電源アダプターを使うので近くにコンセントが無ければいけません。



(左 Google Home 右 iRemocon mini)

また、Wi-Fi 環境で無ければ使えないこと。Google アカウントを使用すること。スマートフォンやタ

ブレット等にアプリをダウンロードしないと設定ができないということ。Google Home 単体だと提携している家電しか利用できない等がわかりました。良く調べなかったのが悪いのだが期待していただけに少し残念でした。よくよく調べると iRemocon(アイリモコン)という機器を連携させると赤外線を使用する電化製品を使用できることが分かったので、今度は Amazon にて約 6,500 円で即購入。これもまた別で電源が必要なのと専用のアプリをダウンロードしないといけません。iRemocon 単体とスマートフォン(アプリ必要)だけでも利用可能です。

### ※iRemocon



(アイリモコン)  
赤外線リモコン装置でスマートフォンとリンクさせてスマートフォンでリモコン代わりになります。ある程度の赤外線なら利用可能。詳しくは、HP をご確認ください。左写真はスマートフォン上の操作画面です。

全てが揃い環境等のセッティング。

まずは Google Home から。まずはスマートフォンに専用のアプリ「Google Home」をインストール。続いて本体を電源とつなぎ起動。アプリを開き、本体を検出、接続し音声認識・Wi-Fi 環境設定をおこないます。これでとりあえず、Google Home は使えるようになります。但し、このままでは音声リモコン代わりにはならないので Google Home 本体と iRemocon とリンクさせます。この作業が終わったら、iRemocon の赤外線設定をします。基本的には使用する家電のリモコンを iRemocon の受光部にあて赤外線信号をコピーするという方式です。ある程度の赤外線信号を利用できるみたいです。これが終わったら今度は Google Home の

アプリに戻りその利用したい赤外線機器のコマンドを設定します。これの繰り返しで色々な家電が利用できるようになります。

最初は設定に時間と労力を費やしますが、設定をしてしまえば後は楽です。後でも接続家電を増やしていくことも可能です。

Google Home 本体は自分の声が聞き取りやすい場所に設置。iRemocon は利用する家電に赤外線が届く場所に設置。音声認識部と赤外線発信部が別となるので、声は認識してくれるけど赤外線が届かないとか、逆に赤外線は届くが声が認識しにくい等の問題は解消しやすかったです。

機械の接続よりも Google アカウントを使ってのアプリの設定やアプリ同士のネットワーク(連携)の方がとても時間がかかったような気がします。インターネットで検索すると分かりやすいサイト等がありますので、参考にした方が良いと思います。

#### 使用してみる

使用する際は、最初に『OK Google』や『ねえ Google』をつけて話しかける。

『OK Google』『電気つけて』と話しかけると、「分かりました。ライトを ON にします。」と答え、ライトが付きます。また、聞き取れなかったり、理解が出来ない場合は、「すみません、よく分かりません。」とか「すみません、お役に立てそうにありません。」と言い終了する。

実際に使用してみると、音声認識率はかなり良くなっている。また、登録すれば(Google アカウント)利用する人の声も 6 人まで聴き分け、答えてくれる。また、スケジュールの確認もできるらしい。

(私は、スケジュール機能は使っていない。)

本当は、Google Home と連携している機器を使えば設定は簡単らしいのだが、みな最新のものが高価であるがゆえに今回は現在使っている家電を使えるようにしました。

iRemocon のみだと、エアコンなどかなりの家電が利用可能ですが、アイコンをタッチしないと使えません。今回は Google Home を使って、声で操作したいのでその設定をしました。調べてみると、エアコン等も細かい設定は出来ませんが、ON・OFFを設定することは可能でした。但し、温度や風量などは変えられませんでした。今現在使っているテレビや照明も、今のところ ON・OFF のみです。

また、電話もアメリカ等一部の国では、特定した相手のみ通話可能だそうですが、日本でそのサービスが利用できるかどうかは未定という事で、まだ、電話は出来ません！！

私は、Google Home で通話機能が使えればと思っていたが、まだ先らしいです。通話が出来れば、何かあったときに緊急連絡が可能になるので、出来れば早急にしてほしい。ちなみに私の緊急の通話方法は iPhone の Siri (AI アシスタント機能) を使った通話のみです。

LINE を使った通話が Clova Wave で出来るのであるが、通話の相手側も LINE が必要です。

結論から言うと、現在私の家で Google Home を使って音声で出来た事は、テレビの ON・OFF、部屋の照明の ON・OFF、エアコンの ON・OFF(設定不可)、天気を聞く事、簡単な調べ事のみです。

環境制御装置というところまではいきませんが、設定と今後の電子機器の発展次第では十分なりうる可能性はあります。値段も安価であることから、購入も気軽に考えられます。

但し、福祉機器ではないため何かあったときの対応は難しいと思われます。

今のところは、今後に期待という事ですかね！また何か良い情報、発展がありましたら報告しようと思っています。

# お役立ち！？

兵庫頸髄損傷者連絡会 島本 卓

今回は車いす乗車時に役に立つ身近なものを使った工夫を紹介していきます。

## ☆尿パック

外出時に尿パックの目隠しアイテムを紹介します。  
古着屋などで売っている子供用のベストが、ちょうどいい大きさに尿パックを隠してくれます。

購入場所：古着屋、ネット通販

購入商品：子供服(90センチ～100センチ)

購入金額：700円～1300円

検索キーワード：子供服 90センチベスト



## ☆カッパ

電動車椅子に合う大きさの雨具って、なかなか見つかりませんよね。

福祉・医療で購入すると高額になってきます。

私はヘッドサポートも一緒にかぶっているので、裾が少したらなくなってきます。その場合は袋を足ごと下からかぶせると雨天時もクリア。顔部分のバイザーがさがるのを防ぐために、キャップを被るとつばで下がってこなくなります。

購入場所：

[https://www.amazon.co.jp/gp/product/B073WW3MQR/ref=oh\\_aui\\_detailpage\\_o06\\_s00?ie=UTF8&psc=1](https://www.amazon.co.jp/gp/product/B073WW3MQR/ref=oh_aui_detailpage_o06_s00?ie=UTF8&psc=1)

検索ワード：Cisico 男女兼用自転車バイク

サイズ：4XL

購入金額：1360円

## 「東北復興支援記 in 福島県」

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田 浩敬

### 1、はじめに

みなさま、こんにちは。  
兵庫頸髄損傷者連絡会の土田浩敬です。

6月8日、9日、10日の2泊3日で東北復興支援として、福島県を訪れました。その時の様子をお伝えしようと思います。

### 2、久しぶりの東北

2012年に郡山で行われた、「3県合同交流会」と2013年に「第28回リハ工学カンファレンス in いわて」で盛岡を訪れて以来です。

今回は、頸損者4名で福島に向かいました。4名ということは介助者も4名、プラス補助スタッフも含めると、まあまあ的人数です。復興支援といっても、私達体の動かない頸損者にとって、形として目で見て分かる支援を行うことは難しいです。しかし、私達のような重度障害者が福島県を訪れて観光して、名産物を食べ、アピールすることは可能です。

そして今回は、福島の頸損者、佐藤孝浩さんらのおもてなしを受けて、実現することになりました。

### 3、超ハードな朝

関西から福島県のある東北地方まで、かなり距離があることは、みなさんもお存知ですよね。そうすると、移動にも時間がかかります。ただ、今回は福島県満喫、東北復興支援するぞ!!!なので少しでも時間を無駄にたくありません!1日目の移動も、ただ移動するだけにとどまらず、有効に使いたいですよねー。てことで、ほぼ始発の電車に乗って行きます。逆算すると4時半に家を出るから、準備に1時間かかるとして、余裕も持って3時に起床。じゃあ何時に寝ればいいんだ、さらに逆算して、9時くらいかな(笑)結局いつも通りの12時就寝。半分寝ながら新神戸駅に到着。

まあ、以前6時半新大阪初東京行きの、のぞみに乗った事もあるから、体力的にも大丈夫でしょうと、根拠のない自信を持ちながら、新神戸を出発しました。

### 4、東北の魅力

今回は、福島市観光コンベンション協会の高橋さん、佐藤さん、からの案内を受けながら、3日間お世話になります。

福島県にお昼前に到着する予定です。そこから、みっちりスケジュールが組まれています。

☆福島県満喫の内容☆

- 1日目 ILセンター福島訪問
- 2日目 さくらんぼ狩り あづま果樹園、浄土平野口英世記念館、五色沼
- 3日目 観光物産館

福島県を訪れる目的の一つでもあった、「さくらんぼ狩り」私にとっては初体験で、とても楽しみでした。あづま果樹園さんでお世話になります。主な品種は“佐藤錦”と呼ばれるもの。イメージとしては、デパートで桐の箱に入って売ってある感じ。一般庶民には手が出ない高級フルーツ。それが、お手頃価格の1,356円で30分食べ放題。電動車椅子でも入園可能です。



完熟サクランボの図

たくさん実ったさくらんぼを、好きなだけ食べることが出来るこの贅沢感。関西では味わえないと思います。有名品種の佐藤錦、さくらんぼの王様と呼ばれるだけあって、大きさから甘さからツヤから、どれを取っても他とは違います。実が大きくて甘味も程良く、ツヤツヤと輝いていますよねー。充分佐藤錦を堪能することができました。

朝一でさくらんぼ狩りを楽しんだ後、次は浄土

平に向かいます。標高1,600メートルで少し肌寒いくらいの情報で、事前に下調べをしていなかった私にとっては、未知の世界。

“浄土平”とは吾妻連峰の東に位置していて、自然が豊かな場所です。湿原が広がり、高山植物が楽しめる景色の綺麗な場所なのですね。小雨が降っていたので、遠くの景色は望めなかったのですが、晴れていれば、最高に綺麗な場所なのだろうと思いました。



### 5つの薬味で、豊かな味わい「祝言そば」

そこから、磐梯吾妻スカイラインを通り、猪苗代湖のほど近くにある「野口英世記念館」へ。

野口英世記念館、個人的には非常に良かった。野口英世の生涯を知り、野口英世の一言一言に感動しました。「人類のために生き、人類のために死せり」正にその言葉通り、野口英世は自ら研究していた黄熱病にかかり51歳で亡くなりました。「志しを得ざれば、再び此地を踏まず」目的を果たせなければ二度と戻らない、、、より深く勉強しようと上京する際に家の柱に刻んだ言葉。意志の強い人間で、強い信念を持って野口英世は人生を全うしたのだと感じました。

野口英世記念館、おススメですので、是非みなさんにも訪れて欲しい場所です。

そして「五色沼」へ移動。火山の噴火で出来た美しい湖沼。数々の湖沼から多様な色彩を見られるので、五色沼と名付けられたようです。色が異なる要因は天候や季節、角度、水中に含まれる火山性物質によるものだそうです。

今回はスケジュールがみっちり組まれていたので、また余裕のある時にゆっくり訪れたい場所です。

## 5、震災の記憶

ILセンター福島を訪れました。

被災された障害当事者から話を聞くためです。震災当初の生々しい話しを、聞くことが出来ました。震災時の介助者のこと、支援物資のこと、放射能のこと、実際にお会いして聞かないと分からないことばかりでした。



### ILセンター福島のみなさんと

私達、兵庫県民も阪神大震災を経験しているので、大地震を経験しているという点で、他人事ではありません。

当時私は小学生で、実質的な被害を受けていないので、その時に感じていた被災者の思いとは、相違があるかもしれません。わからないこともあります。ただ話を聞いて、想いを寄せることは出来ます。ILセンター福島のみなさんの話を聞いて、日々備えていくことが出来ればと思います。

## 6、おわりに

2泊3日の訪問も、あっという間に過ぎて行きました。観光地、名産物、共に良かったのですが、私達を受け入れてくれた方々の“心の温かさ”がなにより心に残りました。福島市観光コンベンション協会の高橋さん、佐藤さん、同じ頸髄損傷者の佐藤さん。みなさんのおもてなしの心が一番でした。あづま果樹園、旅館のスタッフ、浄土平の案内の方、その他関わった多くの人に感謝します。

また東北の温かさを感じに訪れたいと、今回の旅を回想しながら、関西までの長い帰路につきました。

## 全国頸髄損傷者連絡会 & 関係団体年間予定

(2018年8月～2019年7月)

全国頸損連絡会事務局 (2018年8月現在)

### [2018年]

8月8～11日 (水～土)	日本福祉のまちづくり学会第21回全国大会 (兵庫県神戸市)
8月18日 (土)	ナイトツアー (名古屋港水族館)
8月29～31日 (水～金)	第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ (神奈川県厚木市文化会館)
9月9日 (日)	秋のバーベキュー交流会 (神奈川)
9月15日 (土)	女性障害者茶話会 (京都)
9月16日 (日)	全国頸損代表者会議 (岡山市国際交流センター)
10月6日 (土)	4都県合同交流会 (福島県郡山)
10月7日 (日)	名古屋シティ・ハンディマラソン (名古屋)
10月10～12日 (水～金)	H. C. R. 2018国際福祉機器展 (東京ビッグサイト)
10月10日 (水)	2018アクセス関西ネットワーク集会 in 大阪 (大阪市福島区民センター・ホール)
10月14日 (日)	京都・大阪合同交流会
10月20日 (土)	国立リハセンター並木祭・ブース出展 (埼玉県所沢)
10月21日 (日)	神奈川&東京交流会(横浜)
11月2日 (金)	栃木県障害者文化祭・カルフル栃木 (宇都宮市)
11月3日 (土)	多治見修道院ワインフェスタ2018 (岐阜県多治見・A J U)
11月11日 (日)	福祉祭りにみんなで行こう (九州頸損)
11月11日 (日)	四国頸損の集い(愛媛県四国中央市)
12月	障害者政策討論集会 (東京・新宿戸山サンライズ)

### [2019年]

2月	バリアフリー推進四国地域連絡会議 (香川県高松)
3月	全国頸損・リハ工学協会合同シンポジウム (場所未定)
3月	全国頸損代表者会議 (場所未定)
3月17日 (日)	ボッチャ競技大会 (九州頸損)
4月18～20日 (木～土)	バリアフリー2019 (インテックス大阪)
5月	全国頸損総会・九州大会 (大分県)
7月5～7日 (金～日)	第19回高知ふくし機器展 (高知県立ふくし交流プラザ)

※全国機関誌『頸損』発行4月・8月・12月 (年3回)

## 全国頸髄損傷者連絡会連絡先

(2018 年 8 月現在)

### 全国頸髄損傷者連絡会・本部

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ88 305B 特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL 079-555-6022 e-mail : jaqoffice7@gmail.com <http://k-son.net/>

【郵便振替】口座番号：00110-0-62671 口座名義：頸損連絡会

※ 各支部、地区窓口連絡がつかない場合は本部にお問い合わせ下さい。

### 福島地区窓口 「福島頸損友の会」

〒961-8031 福島県西白河郡西郷村大字米字中山前 146-1 (相山方)

TEL 080-1656-1727 e-mail : hidamari.s@gmail.com <http://fukushima-keitomo.e-whs.net/>

### 栃木頸髄損傷者連絡会

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ福祉プラザ内(2F)

TEL&FAX 028-623-0825 e-mail : keison@plum.plala.or.jp <http://www16.plala.or.jp/tochigi-keison/>

### 東京頸髄損傷者連絡会

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-1-2 伊藤マンション205

TEL 090-8567-5150 e-mail : tokyokeisonn@gmail.com <http://www.normanet.ne.jp/~tkyksen/index.html>

### 神奈川頸髄損傷者連絡会

〒228-0828 神奈川県相模原市麻溝台696-1 ライム106号室(星野方)

TEL&FAX 042-777-5736 e-mail : h-futosi@wa2.so-net.ne.jp <http://www.k-sonet.jp/>

### 静岡地区窓口

〒426-0016 静岡県藤枝市郡1-3-27 NPO 法人障害者生活支援センターおのころ島気付

TEL 054-641-7001 FAX 054-641-7181 e-mail : matunosuke@cy.tnc.ne.jp

### 愛知頸髄損傷者連絡会

〒466-0035 愛知県名古屋市中区松風町2-28 ノーブル千賀1F A J U 自立生活情報センター内

TEL 052-841-6677 FAX 052-841-6622 e-mail : kito@aju-cil.com

### 頸髄損傷者連絡会・岐阜

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4-1-7 ソフトピアジャパン702バーチャルメディア工房内

TEL&FAX 0584-77-0533 e-mail : kson\_g@yahoo.co.jp <http://g-kson.net/>

### 京都頸髄損傷者連絡会

〒601-8441 京都府京都市南区西九条南田町4番地 九条住宅B棟313 村田方

TEL 090-8886-9377 e-mail : keison@ev.moo.jp

### 大阪頸髄損傷者連絡会

〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町3-4-21 ベルエキップ・オグラン1階 自立生活センターあるる内

TEL&FAX 06-6355-0114 e-mail : okeison@yahoo.co.jp <http://rsakurai.hp.infoseek.co.jp/oaq/>

### 兵庫頸髄損傷者連絡会

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ88 305B 特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL 079-555-6229 FAX 079-553-6401 e-Mail : hkeison@yahoo.co.jp <http://hkeison.net/>

### 香川頸髄損傷者連絡会

〒763-0001 香川県丸亀市風袋町136(塩田方)

TEL&amp;FAX 0877-24-3803 e-mail : hirok-shiota@me.pikara.ne.jp

### 愛媛頸髄損傷者連絡会

〒799-0433 愛媛県四国中央市豊岡町豊田336-2(山下方)

TEL 0896-25-1290 e-mail : ehimekeison@gmail.com

### 徳島頸髄損傷者連絡会

〒779-1402 徳島県阿南市桑野町岡ノ鼻28番地(江川方)

TEL 0884-21-1604 e-mail : awakeisons@gmail.com

### 九州頸髄損傷者連絡会

〒874-0942 大分県別府市千代町13-14 ユニバーサルマンション2階 NPO 法人自立支援センターおおい内

TEL 0977-27-5508 FAX 0977-24-4924 e-mail : kkr@jp700.com

## 編集部のページ

新執行部発足と共に、本部事務局連絡先も変更となりました。  
皆様からの連絡をお待ちしています。

全国頸損連絡会新事務局  
住所：〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ88 305B  
特定非営利活動法人ぼしぶる内  
TEL：079-555-6022 E-mail：jaqoffice7@gmail.com

### ●編集部連絡先

住所：〒189-0023 東京都東村山市美住町 1-4-15-1-105 菊地敏明  
TEL：080-6578-8019 E-mail：[narimasu@major.ocn.ne.jp](mailto:narimasu@major.ocn.ne.jp)

### ●全国頸損連絡会振込先

郵便口座 00110-0-62671 頸損連絡会

**[当会活動支援の寄付金をお願いしています]**

### 機関誌広告募集

当機関誌は、全国の頸損会員（約500名）及び関係者に講読され、好評を得ています。  
内容をご覧いただいたうえで、広告掲載をご検討ください。  
是非皆様のお知り合いにもご紹介ください。

[広告掲載要綱]

料金 1ページ・2万円。半ページ・1万円。

1年以上継続契約の場合は半額割引。発行は年3回（4月・8月・12月）です。

申し込みは編集部・菊地までお願いします。

### 編集後記

東京会員の鈴木一成さんが7月に逝去されました。

一昨年末まで、ご自身が代表を務めていた「CILふちゅう」事務所内に、全国頸損連絡会の本部を置かせていただき、且つ窓口業務もお願いしていました。

本当にお世話になり、当会としても改めてお礼を申し上げます。

長い間自立生活センターを運営し、地域の障害者自立支援のために尽力され、周囲からの信頼も厚かった方です。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

酷暑の中、皆様もどうぞご自愛ください。

K. T

■ホームページアドレス：<http://k-son.net/>

『頸損』閲覧パスワード「keisonn」

二〇一八年八月七日発行  
SSKA 頸損増刊通巻第九六九六号 (毎月六回一・六の日発行)  
昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可

発行人  
編集人

障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区祖師谷三丁目十七  
ヴェルドゥーラ祖師谷一〇二号室  
全国頸髄損傷者連絡会 菊地敏明  
東京都東村山市美住町  
一―四―十五―一―一〇五

### 全国頸髄損傷者連絡会

会長 鴨 治 慎 吾

〒669-1546

兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1

フローラ88 305B

特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL 079-555-6022

Mail jaqoffice7@gmail.com

頒価 二五〇円